



# 11月の園だより

令和7年11月1日  
目黒区立中町保育園 園長

近隣の公園まで散歩に出掛けた1歳児クラスが、赤い実を集めて楽しんでいました。子どもたちにとって赤い実は『さくらんぼ』に例えられ「さく…んぼだよ」と小さな手のひらの中を見せてくれます。2粒の実を握りしめ、保育士に見せに来る子がいました。そこへ実を持っていない子がやって来たので、保育士が「〇〇ちゃんにも一つあげようか」と提案すると「いいよ」と1粒渡します。帰園時間になり、集めた実を子どもたちが保育士の持つ袋に入れていると、先程渡した1粒を友達の手から静かに取り返す場面を目にしました。一瞬の出来事に“なんで持って行っちゃったの…”と友達が戸惑いの表情で近付いてくる気配を察すると「まってまって」と遠ざかります。「ダメ」「あげない」等の言葉ではなく「まって」と期待を持たせつつ、やんわりとかわす姿に日頃の子ども同士の関係性が良好であることが伺えます。「1粒渡したのは、あの時その瞬間の気分だっただけで、今は違うの」と言わんばかりに、まるで秋の空のように移り変わりの早い子ども心です。自我をしっかり出しながらも周りの子の存在に気付き、気にしたり関わろうとしたりする姿は1歳児の健全な育ちを表していて、どちらの思いも微笑ましい気持ちで受け止めました。

子どもたちは親しい友達との関係を深め、遊びながらコミュニケーションを図ることで年齢に応じた社会性を育んでいます。同時に、自分で出来ることへの自信が高まり、安定した生活につながる時期でもあります。まさに後半の『充実期』であることを園生活の中で生き生きと見せてくれています。職員も負けてはいられません。元気な子どもたちに保育内容の更なる充実で応えていきます。

## 行事予定

焼き芋会（全園児）  
交通安全教室（3・4・5歳）  
歯科検診（全園児）  
内科検診（全園児）

中旬 身体計測 避難訓練



## みんなの声から

『どうやって作ったの？』



～栄養士～

給食時間の様子を見に行くと、子どもたちから「これはどうやって作ったの」と聞かれことがあります。「ブロッコリーを茹でて、カレー味にしたよ」「ほうれん草を茹でて、醤油と海苔を入れたよ」等と伝えると、興味を持って聞いています。苦手な食材でも味をイメージ出来ると食べてみようとする姿が見られるので、作り方や味付けについて丁寧に伝えるようにしています。「明日も今日と同じ給食にしてね」「明日は〇〇がいいな」と可愛らしいリクエストをもらえるので、献立を考える力になっています。先日、おひさま組の子どもたちから「りんごゼリーとぶどうゼリーと一緒に食べたい」と声があがったので『秋の二色ゼリー』と名付けて10月の献立に入れてみたところ大好評でした。《食べる事が大好き》になるように、子どもたちの希望も取り入れながら調理方法や味付けの工夫をしています。

生まれる給食

### たんぽぽ組（2歳児）

公園に落ちているどんぐりを拾うと、数人で切り株の上に集め「こんなにい～っぱい」と嬉しそうです。手でくったり、転がっていかないよう手の壁を作り守ったりしている子もいます。一度は切り株に置いたどんぐりですが「〇〇ちゃんの」とズボンのポケットに入れた子がいました。その様子を見た子が「みんなでいっぱいにするんだよ」と入れようとするのを止めます。自分で拾ったどんぐりを『大切な自分のもの』にしたい気持ち、いっぱいのどんぐりを減らしたくない気持ち、どちらの姿にも2歳児らしさがありました。帰り道ではたくさんのどんぐりのお土産を持って「カマキリにあげ



ようね」「食べるかな」等と話しながら、期待を膨らませていました。

### ほし組（3歳児）

油面公園の梅林には、子どもの背丈ほどの草が生えています。草をかき分けて走ったり「迷路みたい」「虫がいるかな」としゃがんで探索したりしていると、自分の体が草に隠れることに気付きました。「かくれんぼみたい。ねえ、かくれんぼしよう」「じゃあ、僕が鬼ね」と遊びが始まり、草むらで屈むと体がすっぽり隠れてなかなか見つけられません。「こっちかな」と探す鬼の声が聞こえると「“し～”だよ」「見つからないようにもっと小さくなろう」とひそひそ声で話していました。「み～つけた」と見つかるのも嬉しそうで「今度は鬼をやりたい」と交代し、次はどこに隠れるか話し合いながら繰り返し遊んでいました。簡単な遊びのルールを守りながら、秋の自然と戯れています。



## 秋の散歩 どんぐりころころ

## 秋さんぽ

### つき組（4歳児）

中央緑地公園に落ちているどんぐりを夢中で拾い、用意した袋はあっという間に満杯になりました。様々な種類の中で、細長いどんぐりを見つけた子がいました。同じ種類を探すのですが周辺には見つからず「あれ、おかしいな。いつもなら同じ場所にあるはずなのに」と呟くと、周りの子が「一緒に探してあげる」と言い“細長どんぐり探し”が始まりました。近くの植え込みを探し「かわいい」と拾ってきたのはとても小さなどんぐりでしたが「赤ちゃんかな。お母さんどんぐりも近くにいるはず…」を探し続けると予想通り細長いどんぐりを発見し、喜んで園に持ち帰りました。「つまようじを使ってコマを作る」「きれいに並べてケーキを作りたい」等制作したい物がたくさんあるようで、これから形にしていくのが樂しみです。



### おひさま組（5歳児）

油面公園に行くと「鬼ごっこしようよ」と子ども同士で遊びを決めています。ある時、強風によって実が付いた状態の葉が落ちてきました。誰かが「何だこれは、何かの実が付いているぞ」と言うと、友達が続々と集まってきた。葉が落ちてきた場所を皆で確認すると、そこにはたくさんの葉が落ちていて「僕は実を集めます」「私は葉っぱを探す」「集めたら持ってきてね。こっちでバーベキューごっこを始めるね」と役割分担しながら、気付くと全員が探し始めました。途中で「木に何か書いてある」「『あおやぎ』っていう名前なんだって」と木札の文字を読み「あおやぎだって～」と伝言ゲームの様に名称が伝わっていきました。アイディアを出し合い、イメージを膨らませながら、友達と遊びを共有する樂しさを満喫しています。

